

## 愛護センターだより

発行:敦賀市少年愛護センター

住所:敦賀市東洋町1番1号

電話:0770-23-0189 Fax:0770-23-0523

『青少年健全育成都市宣言』 都市:敦賀市

### 楽しく楽に

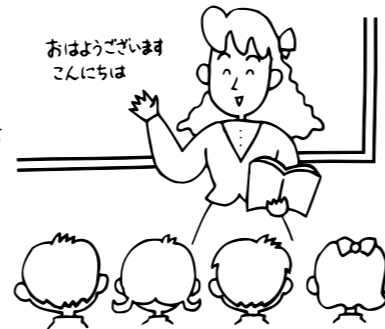
新年度となりました。子ども達は期待と不安を胸に新学期を迎え、新しい学年・学級でクラスメイトや担任の先生と出会ったことでしょう。

さて、子ども達は「学校」「学級」という個性豊かな子ども達の集まりの中で、みんなとうまく過ごしていく社会性の勉強もしていきます。時には自分のやりたい気持ちを我慢し、集団を優先しなければならないことを学ぶので、周りに気を遣いながら過ごします。発達段階に応じて気遣いも変わってきますので、小学校1年生も、中学校3年生も、それ相応のストレスを感じて生活をおくっています。ストレスの中で生活していくことについては大人と同じです。ただ、大人は豊かな生活経験がありますから、ストレスとの向き合い方を心得ていて、うまく解消していきますが、子どもは大人ほどうまくできません。だから、家庭の役割が大切になります。

学校の先生方も学校や教室が少しでも楽しく気持ちが楽に過ごせるように努力していますが、なんと言っても学校には多くの子ども達がいます。ある子にとっては楽しくない場合もあるでしょう。でも、気持ちが楽になって、心が安らいで、辛いことも忘れる…そういうリフレッシュができる「家庭」があれば、学校でのストレスに負けず子ども達は元気に成長していきます。学校や家の外に出て自分に合った心安らぐ場所を探すことも必要かもしれませんが、まずは家庭から。全ての子どもには、楽しく楽な居場所が必要です。



子ども達が集団生活を送るようになると、我が子がどれくらい「できる」のか、親として気になります。「できる」を確認して安心したいという気持ちはよくわかります。我が子が自分らしく頑張っているのはわかっているけど、周りとの比較で安心しようとしてしまいます。しかし、周りとの比較…、誰かと比べることは、勝ち負けができ、それが子ども達に好き嫌いを生じさせてしまいます。子ども自身は負けても、嫌いでないのに、大人が「比べる」ことで負けたり、嫌いになったり。比べることで不幸になることがありますので要注意。「昨日できなかったことが今日できる」「今日できなかったことが明日できるかもしれない」そうした成長を喜ぶようにすれば、子ども達も安心して毎日をすごせるのではないのでしょうか。



### 民法改正

明治時代から約140年間の長きにわたり、日本では「成年年齢は20歳」と民法で定められていました。しかし、今回民法が改正され、この4月1日から成年年齢が20歳から18歳に変わりました。

成人式はどうなる？選挙は？ということが思い浮かびますが、成年年齢が引き下げられたことで、いろいろな心配事がある…ということが報道等で取り上げられています。

その一つが「契約」について。民法が定める成年とは「一人で契約をすることができる年齢」「父母の親権に服さなくなる年齢」です。したがって18歳に達すると、親の同意を得なくても、自分で責任が取れる成年として、自分の意思で様々な契約ができるようになるわけです（飲酒や喫煙、競馬などの公営競技に関しては、これまで同様20歳に達していなければなりません）。

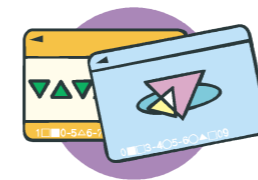


例えば、携帯電話の契約、部屋を借りる、クレジットカードをつくる、高額な商品を購入したときにローンを組む、こうしたことが18歳になっていれば親の同意がなくても契約ができるわけです。また、親権に服さなくなるため、自分の住む場所、進学や就職などの進路なども自分の意思で決定できるようになります。



話題となっているのは、一般的に高校3年生の年齢である18歳から20歳に達するまでの2年間。高校卒業後一人暮らしを始める子ども達にとっては、親の庇護がなくなり、一気に「世の中」の荒波にさらされることになり心配だ…ということです。

未成年者が親の同意なく契約した場合には、民法で定められた「未成年者取消権」によって契約を取り消すことができます。しかし、18歳になると自己責任で「契約」を結ぶかどうかを正しく判断しないとイケない、責任を持って判断したと見なされる…ということ。



契約には様々なルールがあり、そうした知識がないまま、安易に契約を交わすとトラブルに巻き込まれる可能性があります。社会経験に乏しく、保護がなくなったばかりの成年を狙い打ちにする悪質な業者もいます。

いろいろな契約をする際には家族でしっかり話をする機会を持たなければなりません。また、日頃から社会の動き等を含めていろいろな話題について家族で話をする習慣が必要となりますね。

また、成年に達したばかりで、消費者トラブルに巻き込まれた場合や困ったことが起きてしまった場合の相談窓口として、消費者ホットライン「188（いやや）！」が設置されています。困ったとき、おかしいなと思ったときには一人で悩まず、しっかり相談ができることも大切です。



## 中学校の部活動

「中学校生活の思い出」というと、修学旅行・合唱コンクール・体育大会等の学校行事の他に「部活動」を挙げる生徒が例年多くいます。ここ2年は行事も部活動も制限や自粛が多くなり、以前のような活動はできていないのですが、それでもみんなと力を合わせて取り組んだことは強く印象に残るようです。

その部活動が変革の時期を迎えています。

以前のように、夕方暗くなるまで練習をしたり、休日一日中練習…ということはありませんでした。敦賀市内の中学校では平日は約1時間ほどの練習、休日は2～3時間程度の練習が基本。1週間の内、少なくとも平日1日・休日1日は部活動をしなない日を設けることが原則となっています。

また、令和2年9月に文部科学省が「休日の運動部活動の地域移行」を発表しました。令和5年度から休日部活動の地域移行が始まるということですが、文部科学省としては「ゆくゆくは平日も地域移行」と考えているようです。

福井県は中学校の休日の部活動運営を地域のスポーツクラブなどに移行するモデル校を指定しており、敦賀市では市内4校の吹奏楽部が対象となり、地域移行に向けた取組を実践しています。

さて、そんな中、この3月に日本中学校体育連盟は「全国中学校体育大会への参加の特例として、地域スポーツ団体等の中学生の全国中学校体育大会への参加を承認することを決定」「参加条件等について、地域スポーツ団体等の都道府県中学校体育連盟と協議を重ね、5月理事会で提案し、6月定時評議員会、理事会を経た後に正式な文書を出発する予定」と発表しました。

「全国中学校体育大会」は、夏休み中に開催される中体連最高峰の全国大会で、二州地区大会を勝ち上がり、県大会で代表権を勝ち取り、北信越ブロック大会を勝ち抜いてようやく出場できる全国大会です。中学校3年間の部活動の総決算として、この大会への出場・優勝を目指し、多くの学校・チームが練習に取り組んできました。

全国大会に地域スポーツ団体等が参加できるようになるということは、その予選となるブロック大会・県大会・地区大会も同様になることが考えられます。いつから、どのような形での参加になるかは会議報告を待つこととなります。



この発表を受けて、福井県中学校体育連盟は、4月12日の総会で「参加資格緩和の検討を始める」としました。

休日の地域移行についても試行段階であり、さらに大会そのものも変わっていきます。コロナ禍で普段の活動もままならない中、部活動は大きな曲がり角にあるようです。日々生懸命部活動に取り組んでいる子ども達が戸惑うことなく、活動できることを祈るばかりです。



## 補導日誌から

○3月21日(月)午後3時～5時 曇 (一部抜粋)

【言葉かけの場所…USAアリーナ：中学生男子7名 女子8名】

USAアリーナ入口で、中学生男女15人がかたまって話していたので、「何かありましたか」と尋ねると、中学校の卒業祝いでボーリング大会をしたとのことでした。皆さん帰るところでした。背も高く、大きくて、中学生と知ってびっくりしました。

金ヶ崎緑地でもスケボーが人気なのではないでしょうか。遊んでいました。



○3月22日(火)午後3時～5時 曇 (一部抜粋)

【言葉かけの場所…ドンキゲームセンター：小学生男子1名】

終業式が近いので、大きな荷物を抱えて、特に低学年はふらふらしながら、下校する姿が見られました。少しコロナが落ち着いて春休みが迎えられると思いますが、まだまだ心配・不安な日々が続くそうです。横断歩道で止まっている子ども達の笑顔を見ていると、「この子ども達を守ってあげたい」「普通の日常にいろいろな体験をさせてあげたい」と願わずにはいられません。

ドンキのゲームコーナーでコインゲームをしている小学生に声をかけたところ、保護者が近くのゲームで夢中になって遊んでいました。その後、親子が合流しました。

○4月8日(金)午後3時～5時 晴れ (一部抜粋)

【言葉かけの場所…アルプラザゲームセンター：小学生男子1名 中学生女子2名】

アルプラザゲームセンターで一人の男児が一人でゲームをしていた。「誰と来たの?」「お母さん。車で待っている」等いろいろな話をしているうちに、赤ちゃんを抱いたお母さんが来て、お金の両替をしゲームを始めようとしていた。おそらく赤ちゃんのことでしばらく車に居て、先に上の子ども一人ゲームセンターで遊ばせに行かせたのだろう。兄弟がいる子どもの場合、二人を見るのは確かに難しいと思う。しかし、小学生一人でゲームセンターで遊ばせておくのは少し危険な感じを受けた。

プリクラコーナーでは入学式後であろう中学生が制服姿で来ていた。「おめでとう!」と声をかけると「ありがとう」と笑顔。お家の人に車で送ってもらい遊びに来たと言う。「気をつけて帰ってね」と声をかけた。

○4月11日(月)午後5時～7時 晴れ (一部抜粋)

気温も上がり、日没の時間も遅くなってきて、外で遊ぶ子が多くなってきたような気がしました。他県では川やため池で事故に遭ってしまった子のニュースも見たりするので、商店やゲームコーナーだけでなく、それ以外の場所も巡視した方がよいのかもしれないと思いました。

